



2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年2月9日

上場会社名 株式会社佐藤渡辺
コード番号 1807 URL <https://watanabesato.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鎌田 修治
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 正木 新次
配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3453-7351

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	23,053	14.5	310	31.7	580	73.4	375	138.0
2025年3月期第3四半期	26,962	1.8	235	73.7	334	65.1	157	74.7

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 1,011百万円 (346.2%) 2025年3月期第3四半期 226百万円 (80.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	60.24	
2025年3月期第3四半期	25.37	

(注) 2024年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	33,487	21,965	65.3
2025年3月期	35,432	21,426	60.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 21,881百万円 2025年3月期 21,342百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		40.00		40.00	80.00
2026年3月期		40.00			
2026年3月期(予想)				40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 3月期の連結業績予想(2025年 4月 1日～2026年 3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	37,000	8.5	1,200	1.9	1,300	2.1	850	4.7

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料7ページ「(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)				
期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	6,391,400 株	2025年3月期	6,391,400 株
期末自己株式数	2026年3月期3Q	146,963 株	2025年3月期	161,727 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	6,238,579 株	2025年3月期3Q	6,225,177 株

(注)2024年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
3. その他	8
生産、受注および販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善や政府の物価高対策を背景に、個人消費は緩やかに持ち直しております。また、深刻化する人手不足への対応やA I・デジタル化需要を背景に、設備投資は堅調に推移しました。一方で、トランプ米政権による高関税政策の影響により、輸出の回復は緩やかであり、海外情勢など先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

道路建設業界におきましては、政府による国土強靱化の推進や、脱炭素社会の実現に向けた取り組みが進展しており、補正予算などの効果により公共投資は、今後も底堅く推移することが期待されます。一方で、民間設備投資では、金利上昇や資材価格の高騰により、一部で慎重な動きが見られました。

また、一部エネルギー価格には落ち着きが見られるものの、建設資材や人件費の上昇圧力は続いており、コスト管理や効率的な施工体制の構築が重要な課題となっております。さらに、環境配慮型の建設技術や資材の導入が求められるなど、今後の経営環境は引き続き予断を許さない状況にあります。

このような状況の中、工事部門におきましては、2025年3月25日付で国土交通省関東地方整備局から建設業法第28条第3項の規定に基づく営業停止処分(2025年4月9日から2025年8月6日までの120日間)を受けた影響により、受注高および売上高は前年同期を大きく下回る結果となりました。一方で、完成工事総利益は採算性の改善などにより前年同期の実績を上回る結果となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、受注高は210億1千6百万円(前年同期比18.3%減)、売上高は230億5千3百万円(前年同期比14.5%減)、経常利益は5億8千万円(前年同期比73.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億7千5百万円(前年同期比138.0%増)となりました。

当社グループは、“変革と学習文化の醸成および持続可能性への取り組み”をテーマとした「佐藤渡辺グループ中期経営計画(2024~2026年度)」を策定し、①収益力の向上、②資本・財務戦略の強化、③E S G経営の推進の3つの基本方針を掲げて、グループ一丸となって取り組んでおります。100年企業としての誇りと伝統を継承しつつ、変化に対応する柔軟性と学習意欲を持つ組織文化の醸成を目指してまいります。

また、効率的な施工体制の構築や技術革新を通じて競争力を強化するとともに、コーポレートガバナンスの強化やコンプライアンスの徹底を通じて公正な事業活動を実現する内部統制システムを構築してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ11.5%減少し、186億3千3百万円となりました。これは現金預金が3億9千7百万円、受取手形・完成工事未収入金等が37億8千万円減少し、未成工事支出金が16億8千9百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ3.3%増加し、148億5千3百万円となりました。これは投資有価証券の評価額が9億6千1百万円増加したことなどによります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ23.8%減少し、81億7千9百万円となりました。これは支払手形・工事未払金等が15億1千1百万円、短期借入金が14億円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2.4%増加し、33億4千2百万円となりました。これは投資有価証券の期末の時価評価により繰延税金負債が8千6百万円増加したことなどによります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度に比べ2.5%増加し、219億6千5百万円となりました。これは投資有価証券の期末の時価評価によりその他有価証券評価差額金が6億2千万円増加し、配当金の支払いにより利益剰余金が1億2千3百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月12日に公表した業績予想の数値からの変更はございません。今後何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	5,030,509	4,632,682
受取手形・完成工事未収入金等	14,749,394	10,968,409
未成工事支出金	852,622	2,542,299
販売用不動産	1,487	1,487
その他の棚卸資産	212,873	193,233
未収法人税等	226	-
その他	208,695	321,360
貸倒引当金	△5,986	△25,490
流動資産合計	21,049,823	18,633,983
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	3,084,207	2,946,782
土地	5,958,421	5,958,421
その他（純額）	769,117	707,051
有形固定資産合計	9,811,746	9,612,256
無形固定資産		
のれん	115,144	86,358
その他	156,437	121,558
無形固定資産合計	271,581	207,917
投資その他の資産		
投資有価証券	3,895,195	4,856,330
長期貸付金	23,592	23,884
破産更生債権等	13,678	12,350
繰延税金資産	290,098	85,435
その他	92,220	70,232
貸倒引当金	△15,678	△14,882
投資その他の資産合計	4,299,106	5,033,351
固定資産合計	14,382,434	14,853,524
資産合計	35,432,258	33,487,507

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	5,997,313	4,485,509
短期借入金	2,800,000	1,400,000
未払法人税等	115,421	178,192
未払消費税等	37,384	-
未成工事受入金	675,906	1,396,408
賞与引当金	381,538	180,163
完成工事補償引当金	15,816	16,842
工事損失引当金	35,000	30,100
設備関係電子記録債務	10,200	23,349
その他	670,841	468,918
流動負債合計	10,739,421	8,179,482
固定負債		
退職給付に係る負債	2,061,058	2,074,370
繰延税金負債	-	86,689
再評価に係る繰延税金負債	912,597	912,597
長期預り金	156,000	156,000
その他	136,480	113,324
固定負債合計	3,266,135	3,342,981
負債合計	14,005,557	11,522,463
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,751,500	1,751,500
資本剰余金	919,701	923,776
利益剰余金	16,116,293	15,993,197
自己株式	△229,157	△207,384
株主資本合計	18,558,338	18,461,089
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,210,519	1,831,491
土地再評価差額金	1,671,984	1,671,984
退職給付に係る調整累計額	△98,191	△83,061
その他の包括利益累計額合計	2,784,312	3,420,414
非支配株主持分	84,049	83,539
純資産合計	21,426,700	21,965,043
負債純資産合計	35,432,258	33,487,507

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	26,962,395	23,053,237
売上原価	24,975,487	20,980,541
売上総利益	1,986,907	2,072,695
販売費及び一般管理費	1,750,987	1,761,972
営業利益	235,920	310,723
営業外収益		
受取利息	982	2,190
受取配当金	72,501	194,988
貸倒引当金戻入額	2,431	-
持分法による投資利益	19,802	72,187
雑収入	16,589	35,069
営業外収益合計	112,307	304,436
営業外費用		
支払利息	8,095	12,090
雑支出	5,438	22,779
営業外費用合計	13,534	34,869
経常利益	334,692	580,289
特別利益		
固定資産売却益	5,454	4,064
特別利益合計	5,454	4,064
特別損失		
固定資産除却損	12,256	6,158
特別損失合計	12,256	6,158
税金等調整前四半期純利益	327,890	578,195
法人税等	169,317	202,832
四半期純利益	158,573	375,362
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	638	△510
親会社株主に帰属する四半期純利益	157,935	375,872

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	158,573	375,362
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	61,227	619,025
退職給付に係る調整額	5,686	15,129
持分法適用会社に対する持分相当額	1,174	1,946
その他の包括利益合計	68,088	636,101
四半期包括利益	226,661	1,011,464
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	226,023	1,011,974
非支配株主に係る四半期包括利益	638	△510

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2025年6月26日開催の取締役会決議に基づき、2025年7月25日付で、譲渡制限付株式報酬として自己株式15,404株の処分を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、その他資本剰余金が4百万円増加し、自己株式が2千1百万円減少しました。

当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が9億2千3百万円、自己株式が2億7百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、建設事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）およびのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	455,271千円	406,151千円
のれんの償却額	28,786	28,786

3. その他

生産、受注および販売の状況

(単位：百万円)

			前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)	
			金額	構成比	金額	構成比
前期繰越高	工事部門	舗装工事	19,228	87.1	14,281	84.4
		土木工事等	2,835	12.9	2,638	15.6
		計	22,064	100.0	16,920	100.0
	製品等販売部門		—	—	—	—
	合 計		22,064	100.0	16,920	100.0
受 注 高	工事部門	舗装工事	18,401	71.5	13,844	65.9
		土木工事等	3,890	15.1	3,407	16.2
		計	22,292	86.6	17,252	82.1
	製品等販売部門		3,437	13.4	3,763	17.9
	合 計		25,729	100.0	21,016	100.0
売 上 高	工事部門	舗装工事	19,483	72.3	15,707	68.1
		土木工事等	4,041	15.0	3,581	15.5
		計	23,525	87.3	19,289	83.7
	製品等販売部門		3,437	12.7	3,763	16.3
	合 計		26,962	100.0	23,053	100.0
次期繰越高	工事部門	舗装工事	18,146	87.1	12,418	83.4
		土木工事等	2,685	12.9	2,464	16.6
		計	20,831	100.0	14,882	100.0
	製品等販売部門		—	—	—	—
	合 計		20,831	100.0	14,882	100.0

(注) 投資家やステークホルダーが連結業績を重視する傾向が強まっており、当社として、グループ全体の透明性向上と投資家からの信頼確立を目指し、個別業績の記載から連結業績への記載へと変更いたしました。